

患者調査の概要

国立がん研究センターがん対策情報センター
若尾 文彦

資料 2-12

患者調査の準備について

調査票(案)作成

全体目標から抽出された項目
分野別課題から選定された指標で患者調査で計測するもの
緩和ケア分野から選定された指標で患者調査で計測するもの
平成25年度パイロット調査から重要と考えられた項目
→上記4群より調査票(案)を作成

調査票(案)評価

インタビュー(患者市民パネル)11人
→インタビューで確認された問題点を改善
模擬調査(インタビュー対応者以外のパネル)
一部のメンバーには、繰り返し調査を実施

↓
模擬調査で確認された問題点を改善し、
調査票最終版を作成

図14. 調査票(案)の評価、関係者の意見から修正された調査票(案)の作成の様子
図15. 調査票(案)の評価、関係者の意見から修正された調査票(案)の作成の様子
図16. 調査票(案)の評価、関係者の意見から修正された調査票(案)の作成の様子
図17. 調査票(案)の評価、関係者の意見から修正された調査票(案)の作成の様子
図18. 調査票(案)の評価、関係者の意見から修正された調査票(案)の作成の様子

患者調査の対象について

<対象病院>

- 都道府県がん診療連携拠点病院(51施設)
- 各都道府県における地域がん診療連携拠点病院(各1or2)
=>施設の選択は事務局で乱数により実施
- 国立がん研究センター中央病院・東病院

<対象患者>

- 2012年の診断・自施設初回治療患者で、各施設において診断時19歳以上(調査時20歳以上)の患者を対象とする。
- 希少がん(院内がん登録からの推計で10万人あたり6以下の種類、17%)は全員(30名を上限)
- 19歳以上40才未満は全員(5%程度と推定、上限30名)
- それ以外のがん患者は無作為抽出で90名
- 発送時亡くなっていることが判明した方も除外しない。

患者調査の実施について

<調査手順>

- 2012年症例で対象施設の協力の下、対象患者を抽出する。
 - 抽出された症例について、専用ソフトにより、住所・氏名付きリストを作成。
 - リストを発送委託業者に送付。
 - 委託業者が、リストに基づき、質問紙を発送。
 - 回答者は、同封された封筒で研究班事務局窓口(委託業者)に返送。
 - データを入力、集計。
 - 参加施設へは施設別の集計を送付。
- ※委託業者は研究班で契約。3.-4.について、委託業者へ宛先情報を送付することが許容できない場合には、病院にて封入・発送を行って頂く。

